



全日本女子ロンドンオリンピック出場権獲得 2012年度第1回理事会(臨時)開催



●ロンドンオリンピック出場権獲得について

5月19日から5月27日まで開催された2012ロンドンオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選大会で、全日本女子バレーボールチームは念願であったロンドンオリンピックの出場権を獲得いたしました。

最終成績は4勝3敗で勝ち点12となり、アジア大陸代表(この大会の上位3チームを除いたアジア最上位チーム)としてオリンピックに出場することが決定いたしました。

大会の目標に掲げた1位通過を果たすことはできませんでしたが、出場決定後のインタビューで、「オリンピックまでの2カ月間で課題を修正して、本大会ではメダル獲得に向け全力を尽くしたい」と眞鍋政義監督は超満員の観衆の前でロンドンオリンピックに出場する決意を表明いたしました。



チームは今後、6月5日に開幕するワールドグランプリを転戦、国内合宿、7月上旬のスイス直前合宿を経てロンドンオリンピックに出場する予定です。

●2012年度第1回理事会(臨時)について

2012年5月29日(火)にJVA事務局会議室で開催された2012年度第1回理事会(臨時)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致に向けた支援決議について

2020年オリンピック開催都市として東京都が立候補しておりますが、このほど行われたIOC理事会の選考で東京、イスタンブール、マドリードの3都市に候補地が絞られました。

これを受け東京招致への決意を表明するため、本理事会で別紙(添付ファイル)のような決議文を採択いたしました。

JVA関係各位におかれましては今後ともオリンピック東京招致に向けご理解ご協力をお願い申し上げます。

●委員会委員の追加選任について

特別委員会委員及び国内事業本部に関する本部員、委員会委員として次の方が選任されました。

特別委員会・用具検定委員会委員

堀越 由高

国内事業本部本部員

岩本 洋 丸山 由美 大山 加奈 大塚 達也

全国連盟審判委員長

増淵 晃(日本ビーチバレー連盟)

若年層競技人口拡大委員会委員

(小学生グループ) 原 淳司 (中学生グループ) 田中 清

●ロンドンオリンピック出場権獲得報奨金の支給及び選手強化特別事業積立資産の取り崩しについて

ロンドンオリンピック出場権を獲得した全日本女子最終予選出場選手 12 名に対して、全日本シニア男女チーム報奨金制度に基づき、選手一人あたり 100 万円の報奨金が支給されることが決議されました。

なお、6 月 1 日から開幕する男子世界最終予選で全日本男子チームがオリンピック出場権を獲得した場合、男子大会出場 12 選手についても同様に支給されます。

また、オリンピック派遣ほか競技力向上事業に係る臨時的な出費に充当することを目的として積み立ててきた選手強化特別事業積立資産 3,500 万円に関して、報奨金の支給やオリンピック派遣費用に充当するため当該資産の取り崩しが承認されました。

<報告事項>

●功労者Ⅱ表彰者について

第 3 期(2012 年度)第 1 回功労者Ⅱ表彰として次の方々の表彰を行うことが岩満一臣表彰委員会委員長より報告されました。

第 3 期第 1 回功労者Ⅱ表彰者（カッコ内は所属団体役職）

鴨井 和壽(香川県協会名誉顧問) 山科 博(山形県協会副会長)

吉住 光史(山形県協会監事)

●国内事業本部における特命プロジェクトについて

下山隆志国内事業本部長より、国内事業に関する多岐にわたる諸問題を検討するため、9 人制復活検討プロジェクト、ビーチバレー競技普及・発展プロジェクトほか特命プロジェクトの設置及び当面の活動予定等が報告されました。

●アジアバレーボール連盟諸会議報告について

この春に行われたアジアバレーボール連盟の諸会議に出席した以下のアジア連盟委員会委員長及び委員から会議報告がありました。

医事委員会 羽牟裕一郎委員長

財務委員会 岩満 一臣委員

審判委員会 下山 隆志委員

コーチ委員会 森田 淳悟委員

マーケティング委員会 豊原 祥徳委員

スポーツ競技委員会 西脇 克治委員

発 行・公益財団法人日本バレーボール協会

電 話・03-5786-2100 FAX・03-5786-2109

発行人・業務執行理事事務局長 岩満 一臣

Email・generalaffairs@jva.or.jp